

全野研 ニュース

全国野菜園芸技術研究会

7月25日発行 第16号
発行所 全野研青年部
全野研 東京事務所
東京都千代田区神田司町2-21
TEL 03-3233-3634
FAX 03-3233-3666
http://www.zenyaken.com
E-mail yasai@zenyaken.com

全国野菜園芸技術研究会 第66回全国大会・神奈川大会

8月2・3日 藤沢市民会館（神奈川）で
【機器・資材・種苗展示会、自作の高軒高ハウスの視察も】

10年後に向けて日々進化する農業経営
～人・環境と調和した持続的な農業をめざして～

全国野菜園芸技術研究会（全野研）は8月2・3日の両日、神奈川県藤沢市の藤沢市民会館で「第66回全国野菜園芸技術研究会 神奈川大会」を開く。関係する機器・資材・種苗展示会も同時に行われる。
2日目は湘南・県央地域のトマトハウス、環境の中で適切な対応や判断
制御機器メーカーの事業所を視察研修する。
4年ぶりに2日間の日程で開催する今回は、10年後に向けて日々進化する農業経営「人・環境と調和した持続的な農業をめざして」が大会テーマ。これまでの延長線上に、予測が難しい、これからの農業経営環境の中で適切な対応や判断
野菜生産者の経営・栽培技術・販売方法・地域との関わり等の事例に学び、参加者同士の意見・情報交換を促進し、技術向上や経営発展、産地の活性化につなげる。
神奈川大会の日程と講演・事例発表のテーマ、掲載



昨年の東京大会のもよう（事例発表）

皆様こんにちは。
全国各地の猛暑と豪雨のニュースが伝えられています。災害により被害を受けた皆様様にお見舞いを申し上げます。
今年は西日本で例年より1週間早い梅雨入りになったと同時に台風2号の日本への接近により、わずか1日でひと月分の雨が降る地域があったほか、線状降水帯が各地で発生して河川の氾濫、土砂災害が頻発しています。一方で暑さも40℃に近い気温になる猛暑が平年になりつつあります。地球温暖化、気候変動という言葉を実感するようになりました。

また一昨年来の肥料や燃油をはじめ生産に欠かせない資材の価格の急激な値上げによりコストは高増し、経営は強く締め付けられました。
今年4年ぶりに全国大会を2日間のフル開催で行います。ようやく再開できた昨年は1日だけの開催でした。新型コロナウイルスで直に交流することが制限されている間に、日常の中身は大きく変わりました。コミュニケーション



全国野菜園芸技術研究会 会長
開催に寄せて
渋谷 忠宏

かなければなりません。今年4年ぶりに全国大会を2日間のフル開催で行います。ようやく再開できた昨年は1日だけの開催でした。新型コロナウイルスで直に交流することが制限されている間に、日常の中身は大きく変わりました。コミュニケーション
「10年後に向けて日々進化する農業経営」人・環境と調和した持続的な農業をめざして」をテーマにしました。10年後の農業はど

この方法も変わりました。全野研でもWEBを使ってリモート会議や時々の情報交換を行うことも始めました。しかし全国から野菜をつくる仲間が一堂に集まって、顔を合わせて新しい技術や自分以外の人のやり方を勉強し、交流し意見を交わすことができないような変化が
活用して、被害を軽減し、生産を安定させる技術の実用化に取り組んでいる小沢聖さんにお話ししました。事例発表は親子2代にわたる素晴らしい苗づくり、優れた観察眼、面積が増えても行き届いた管理で高品質な野菜をつくる和田浩明さん。お互いの栽培の現場を見て、データを共有し、多くの人と出会う場を設けて高め合うスタディクラブを立ち上げた永田亮さん。多品目の野菜生産、多様な販売先、積極的な消費者との交流の中から目標と戦略を考える秋葉豊さん。こうした取り組みを、自分の栽培や経営にどのように生かしたらよいか、会場の皆さんと意見を交わして下さい。貴重な2日間が明日に10年後につながる時間になるとを願っています。

NEPON
通信機能付き施設園芸用温風暖房機
ハウスカオンキ
HK30型
新たに通信機能を搭載し、操作性の向上と省力化を実現します。
スマホで便利に省力化・省エネ！
遠隔操作で病害リスク対策
「急な雨、ちょっと暖房機を動かしたい…」を実現！
利用料 無料
※アプリは無料ですが、ダウンロードおよびサービスのご利用にかかる通信費用はお客様のご負担となります。

データ駆動 × 低炭素
NEPON
施設園芸用ヒートポンプ
グリーンパッケージ
NGP109TQ
ネポン独自のハイブリッド制御で、室温管理とCO2排出削減に貢献します
暖房 除湿 夜冷
NEPON 株式会社 営業部
TEL.046-247-3269

施設園芸用ヒートポンプ
グリーンパッケージ
NGP109TQ
ネポン独自のハイブリッド制御で、室温管理とCO2排出削減に貢献します
暖房 除湿 夜冷
NEPON 株式会社 営業部
TEL.046-247-3269

団体会員の活動報告

栽培技術の向上と良品生産へ

各県団体が品評会・共進会

茨城県施設園芸研究会

第27回茨城県施設野菜立毛品評会

茨城県施設園芸研究会(中澤清会長)は、6月21日に第27回茨城県施設野菜立毛品評会(きゅうり・トマト)の最終審査会を行い、最優秀賞2点をはじめ優秀賞4点、優良賞6点の表彰者を選定した。各賞・特別賞の受賞者は次の通り。

【最優秀賞】▽農林水産大臣賞・タキイ種苗(株)社長賞▽伊藤綾馬氏(トマト)▽農林水産省農産局長賞・(株)埼玉原種育成会社長賞▽坂野裕一氏(きゅうり)

【優秀賞】▽茨城県知事賞▽高野俊仁氏(きゅうり)▽茨城県議会議長賞▽吉久保憲章氏(トマト)▽茨城県農林水産部長賞▽長町薫氏(トマト)▽全国野菜園芸技術研究会会長賞▽松信久氏(きゅうり)

【優良賞】▽全国農業協同組合連合会茨城県本部会長賞▽久保田浩一氏(きゅうり)▽全国農業協同組合連合会茨城県本部会長賞▽佐藤陸氏(トマト)▽(公社)茨城県農

林振興公社理事長賞▽松崎憲治氏(きゅうり)▽(公社)茨城県農林振興公社理事長賞▽長塚清吾氏(トマト)▽岩淵浩季氏(きゅうり)▽大図一正氏(きゅうり)



群馬県園芸協会
第37回群馬県施設果菜類品評会

群馬県園芸協会野菜部(ナスは出品なし)は、3月16日に群馬県庁県民ホールで第37回群馬県施設果菜類品評会(キウリ、トマト、ナス、ミニトマト)を開催した(写真)。キウリの部、トマトの部、ミニトマトの部の入賞者は以下の通り

▽群馬県知事賞▽塚越正一氏(ナスは出品なし)▽〈キウリの部〉▽【金賞】▽群馬県農業協同組合中央会代表理事会長賞▽松津誠氏、【銀賞】▽群馬アレビ賞▽関口栄信氏、【銅賞】▽岡賢一氏

▽茨城県知事賞▽高野俊仁氏(きゅうり)▽茨城県議会議長賞▽吉久保憲章氏(トマト)▽茨城県農林水産部長賞▽長町薫氏(トマト)▽全国野菜園芸技術研究会会長賞▽松信久氏(きゅうり)

【優良賞】▽全国農業協同組合連合会茨城県本部会長賞▽久保田浩一氏(きゅうり)▽全国農業協同組合連合会茨城県本部会長賞▽佐藤陸氏(トマト)▽(公社)茨城県農

埼玉県野菜園芸技術研究会

第47回施設野菜立毛共進会

埼玉県野菜園芸技術研究会(加藤浩会長)は、きゅうり3作型(越冬・促成・半促成)、トマト促成栽培を対象にした第47回施設野菜立毛共進会を行い、出品総数145点の中から各賞受賞者15名を選定した。表彰式(写真は前回の表彰式)。

▽前橋青果(株)社長賞▽幸氏▽全国農業協同組合連合会群馬県本部運営委員長賞▽森田裕明氏、萩原宏貞氏

▽前橋青果(株)社長賞▽幸氏▽全国農業協同組合連合会群馬県本部運営委員長賞▽森田裕明氏、萩原宏貞氏

▽前橋青果(株)社長賞▽幸氏▽全国農業協同組合連合会群馬県本部運営委員長賞▽森田裕明氏、萩原宏貞氏



▽前橋青果(株)社長賞▽幸氏▽全国農業協同組合連合会群馬県本部運営委員長賞▽森田裕明氏、萩原宏貞氏

▽前橋青果(株)社長賞▽幸氏▽全国農業協同組合連合会群馬県本部運営委員長賞▽森田裕明氏、萩原宏貞氏

▽前橋青果(株)社長賞▽幸氏▽全国農業協同組合連合会群馬県本部運営委員長賞▽森田裕明氏、萩原宏貞氏

神奈川県施設野菜組合連合会

第52回神奈川県施設野菜共進会

神奈川県施設野菜組合連合会(令和4年度)神奈川県施設野菜共進会を開催し、トマトとキュウリの2品目で立毛の部35点、野菜の部121点の出品の中から各賞を以下の通り決定した。

▽農林水産大臣賞▽和田浩明氏(立毛トマト)▽和泉和宣氏(野菜キュウリ)

▽農林水産大臣賞▽和田浩明氏(立毛トマト)▽和泉和宣氏(野菜キュウリ)

▽農林水産大臣賞▽和田浩明氏(立毛トマト)▽和泉和宣氏(野菜キュウリ)

▽農林水産大臣賞▽和田浩明氏(立毛トマト)▽和泉和宣氏(野菜キュウリ)

▽農林水産大臣賞▽和田浩明氏(立毛トマト)▽和泉和宣氏(野菜キュウリ)

▽農林水産大臣賞▽和田浩明氏(立毛トマト)▽和泉和宣氏(野菜キュウリ)

▽農林水産大臣賞▽和田浩明氏(立毛トマト)▽和泉和宣氏(野菜キュウリ)

▽農林水産大臣賞▽和田浩明氏(立毛トマト)▽和泉和宣氏(野菜キュウリ)

▽農林水産大臣賞▽和田浩明氏(立毛トマト)▽和泉和宣氏(野菜キュウリ)

三菱ケミカルアグリドリーム株式会社は
2023年10月1日より
MKVアドバンス株式会社
に社名が変わります!!
名称は変わりますが、当社製品は今まで通りです。
今後ともご愛顧のほどよろしくお願いいたします。

耐久無滴農POフィルム
8年耐久
スーパーダイヤスターTM
● 8年連続展張を実現
● しなやかな強さを維持して透明度も高まりました。
● 良好な透明性を持続します。

耐久無滴農POフィルム
5年耐久
ダイヤスターTM
● 抜群のスッキリ透明感
● しなやかな強さを実現
● フィルム展張も作業しやすいフィルム

三菱ケミカルアグリドリーム株式会社

全野研賛助会員の 資材・技術提案

ネポン 新型ハウススカオンキ 通信機能付きHK30型



スマホを利用し離れた場所から状況監視、遠隔制御、警報通知が行える。●「DCモーター送風機の採用」消費電力を8〜15%削減(同社従来比)。ダク

ネポン(株)のハウススカオンキが、HK30型シリーズとして2023年7月にモデルチェンジする。同社によると、信頼の基に本機能に加え、新たに通信機能を追加して操作性向上や省力化を実現している。問い合わせは、ネポン(株)営業部☎電話046-1247-3269まで。

●「通信機能の搭載」

シンジエンタジャパン トマトキバガ防除に適用拡大 アフアーム乳剤とアグリメック



シンジエンタジャパンの殺虫剤「アフアーム乳剤」と「アグリメック」が、7月5日付けでトマトにおいて大きな被害をもたらす外来害虫

「トマトキバガ」の防除に使用できる農薬に登録された。「アグリメック」はトマただけに、「アフアーム乳剤」はトマトとミニトマトの両方に、収穫前日まで使用できる。幅広

東都興業

ソーラー発電対応の自動巻き上げ換気電動カンキットN制御盤LiteSolar



東都興業は圃場に電源がなくともソーラーパネルの自動巻き上げ換気ができる制御盤「電動カンキットN制御盤LiteSolar」を発売した。ソーラーパネルはオープン設定。電源の確保が導入手を諦めていた施設園芸における自動換気をソーラーパネル電源(DC24V)に対応することで解消。平地でも中山間でも立地条件を問わず、換気作業の省力化を図ることが可能。

同社の電動カンキットNシリーズの中でも設置スペースが最も小さく、導入コストを抑えることができる「電動カンキットN制御盤Lite」がベ

定、動作時間、停止時間の4つを設定すればハウスの温度と目標温度の差を判定して自動で巻き上げ開閉を行う。オープンにバッテリーを2台収納するBOXを用意。フル充電で最大5日間駆動(1日30分駆動の場合)が可能。

同社は「太陽光発電(再生エネルギー)を利用するため環境負荷が少なく、管理棟数が多く設備投資を抑えたい経営体や、使用期間が限られる育苗ハウス、夏秋作の作物を栽培するハウスの自動化に適している」と説明する。

YouTube 「全野研チャンネル」 公開中

全国施設園芸技術研究会
Zenkoku Yatai Engei Gijyuu Kenkyukai

YouTube全野研チャンネル 資材紹介・技術紹介
動画でわかりやすく、全野研賛助会員各社の新資材・新技術を紹介します。

YouTube全野研チャンネル
動画でわかりやすく、全野研賛助会員各社の新資材・新技術を紹介します。

●「アグリメック」(殺虫剤)の紹介動画、FM Cケミカルス(株)の殺虫剤「ベネビアOD」の基本特性と実践編・安全性の動画、ベルグアース(株)のアース苗専用ロックワール「ア

全野研チャンネル (野菜農家が集う「全国施設園芸技術研究会」)

動画をクリックする。
動画配信をご希望の賛助会員は、全野研東京事務所 (yasai@zenyaken.com) へお問い合わせください。

全野研では公式YouTubeチャンネル「全野研チャンネル」で、賛助会員メーカーが取り扱う商品やサービス、技術を紹介する動画の配信を行っている。商品の特長や導入事例、使用方法などを各会員が動画で分かりやすく説明する。現在、久留米原種育成会の新品種「プレス」の紹介動画、FM Cケミカルス(株)の殺虫剤「ベネビアOD」のホームページ(<http://www.zenyaken.com/index.html>)のコンテンツ一覧にあるYouTube全野研チャンネルのリンク



最新の技術・機器資材・先進経営を紹介

施設と園芸

No.202 夏 2023

ハウス栽培の専門誌「施設と園芸」は、毎号、作物別生産技術の特集、CO₂排出ゼロ対策、災害対策、高温対策・大規模経営など課題別の特集、被覆資材・IoTなど最新資材を特集に取り上げています。最新号の特集は、「これからのエネルギーのあり方を考える」です。掲載記事の一覧は、👉からご覧いただけます。

地中熱ヒートポンプ(農地の未利用熱利用)

特集 これからのエネルギーのあり方を考える

発行所 株式会社 日本施設園芸協会
<http://www.jgha.com/>

OS 名実ともに安定し益々成績アップ
交配 つや系 最高品質・シャリツとおいしく人気急上昇

ハウス複合耐病性品種

ニーナ・ニーナZ ゼット
周年栽培可能 節成り性が高くとも分枝性良い ニーナZはニーナより草勢強め

まりん S-32
1月~8月播き用 節成り性が高く、分枝性程良い 初期収量超多収

はやか 勇翔
2月~7月播き用 省力性 早生 果形安定 ヤケ果も殆ど見られない
6月~2月播き用 草勢バランス良好 早生 節成り性高い 肥大早い 秀品多収

みれい 兼備1号・2号
8月~2月播き用 分枝性は程良く、終果果形安定 肥大良好
1号: 8/下~9月及び12/中~2月播き用
2号: 1/中~8/中播き用

席卷普及実力品種 ハイグリーン21・22 極光607 P.V.P.22619

千秀2号 常翔661 春栄(しゅんえい) ゆうみ637 イケセント620

相性ひったり、バランスOK OS交配 ブルームレス台木

ゆうゆう一輝 黒タイプ 白タイプ FGY
オールスター一輝 RK-3

SGI 株式会社 埼玉原種育成会
TEL 0480-85-0854 (代)
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀 2616 FAX 0480-85-0407
ホームページ <http://www.sgi-seed.co.jp> Email sgi@pastel.ocn.ne.jp

OS交配種子 発売元 SEED 株式会社 シード
TEL 0480-85-7211 (代)
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀 2616 FAX 0480-85-0407
ホームページ <http://www.sgi-seed.co.jp> Email sgi@pastel.ocn.ne.jp

全国野菜園芸技術研究会 開催概要

第66回全国大会・神奈川大会

10年後に向けて日々進化する農業経営 ～人・環境と調和した持続的な農業をめざして～



昨年の東京大会で（膝腰痛予防の実践）

大会日程（予定）

■ 8月2日(水) 式典、講演会（藤沢市民会館大ホール）

- 12:00～ 受付開始
- 12:00～ 機器・資材・種苗展示会（～17:00）
- 13:00～13:50 式典 主催者挨拶・来賓祝辞・来賓紹介
功績者表彰・感謝状贈呈
- 13:50～14:20 休憩・展示見学
- 14:20～14:45 講演Ⅰ 我が国の食料安全保障をめぐる
情勢と農林水産省の取組
農林水産省 大臣官房政策課食料安全保障室
- 14:45～14:55 講演Ⅱ 神奈川県野菜の現状と振興策
神奈川県環境農政局農水産部農業振興課
- 14:55～15:10 講演Ⅲ ICTを活用した施設トマト生
産に関する研究開発
神奈川県農業技術センター
生産技術部野菜作物研究課
- 15:10～16:00 基調講演 作物・農家視点の技術を求めて
元明治大学黒川農場 小沢 聖 氏
- 16:00～16:40 休憩・展示見学
- 16:40～17:05 事例発表① 私の施設トマト・キュウリ
栽培
神奈川県藤沢市 和田 浩明 氏
- 17:05～17:30 事例発表② 現地研修とデータの活用によ
り施設キュウリの技術向上を図る
スタディクラブ節なり会について
群馬県邑楽郡板倉町
永田ファーム代表 永田 亮 氏
- 17:30～17:55 事例発表③ 私の農業経営
～雇用と販売方法の新たな提案～
神奈川県藤沢市 秋葉 豊 氏
- 17:55～18:00 大会スローガン採択
- 18:00 閉会 事務連絡
- 18:30～20:00 交流懇親会
（藤沢市民会館第1展示集会ホール）

■ 8月3日(木) 現地視察研修（バス移動）

- 乗車：08:30 藤沢駅北口発
- 視察：09:40～10:00 菊地園芸(寒川町)
- 視察：10:45～11:45 ネボン(株)厚木事業所
- 下車：12:15 本厚木駅(小田急)着
- 下車：12:30 海老名駅(小田急・相鉄・JR)着

事例発表者のプロフィール

- 和田 浩明 氏
藤沢市で施設トマ
ト、キュウリの土耕栽
培を家族経営（家族4
名パート）で行う。
平成2年に後継者とし
て就農し、父親ととも
にハウス30aで促成ト
マトと夏秋キュウリ、
20aで半促成キュウリ
と抑制キュウリを栽
培。土づくりを重視
し、基本に忠実なきめ
細やかな栽培管理で高
い収量と品質を確保
し、令和3年度神奈川
県施設野菜共進会キュ
ウリの部で農林水産大
臣賞受賞、令和4年度
神奈川県施設野菜共進
会トマトの部で農林水
産大臣賞受賞。
- 永田 亮 氏
スタディクラブ
「節なり会」
会社勤めを辞め東京
から群馬に移り、研修
を経て平成27年に就
農。20aでキュウリを
栽培。30年にスタディ
クラブ「節なり会」を
設立。初代会長。若手
農家、新規就農者、ベ
テランが現地研修で互
いの栽培圃場を巡り意
見を交わし見る目を養
う。先進産地の視察も
行う。会員は栽培環境
管理データ、出荷デー
タを共有して現在位置
を確かめ目標を立て課
題に取り組む。多くの機
会と刺激で成長を支援
している。
- 秋葉 豊 氏
32歳で会社勤めを辞
め新規参入し10年目。
藤沢市を中心に、綾瀬
市、海老名市、大和市
の農地計約9haで露地
野菜及び施設野菜（メ
ロン、イチゴ）など年
間120品目以上の野
菜を生産する。
販売は、農協出荷、
地元スーパー、マルシ
エ、飲食店、学校給食、
業務加工用出荷等多
岐にわたる。
土づくりにこだわ
り、都市近郊の消費者
に、鮮度が良く、品質
の高い野菜を安定的に
供給することを心掛
け、経営を拡大してい
る。

機器・資材・種苗展示会 出展社

- (株)サカタのタネ
- (株)大仙
- AGCグリーンテック(株)
- ベルグアース(株)
- 日本ワイドクロス(株)
- (株)埼玉原種育成会
- (株)村田農場
- (株)TMR
- (株)アグリセクト
- (株)生科研
- 丸和バイオケミカル(株)
- (株)久留米種苗園芸
- (有)木紅木
- アリストライフサイエンス(株)
- 埼玉農工機料販売(株)
- タキイ種苗(株)
- (株)Brizes
- ネボン(株)
- (株)加藤工業所
- (株)つくば分析センター
- 日本モウルト工業(株)
- (株)マクランサ
- (株)HappyQuality
- (一社)農山漁村文化協会



機器・資材・種苗展示会のもよう
（第64回熊本大会）